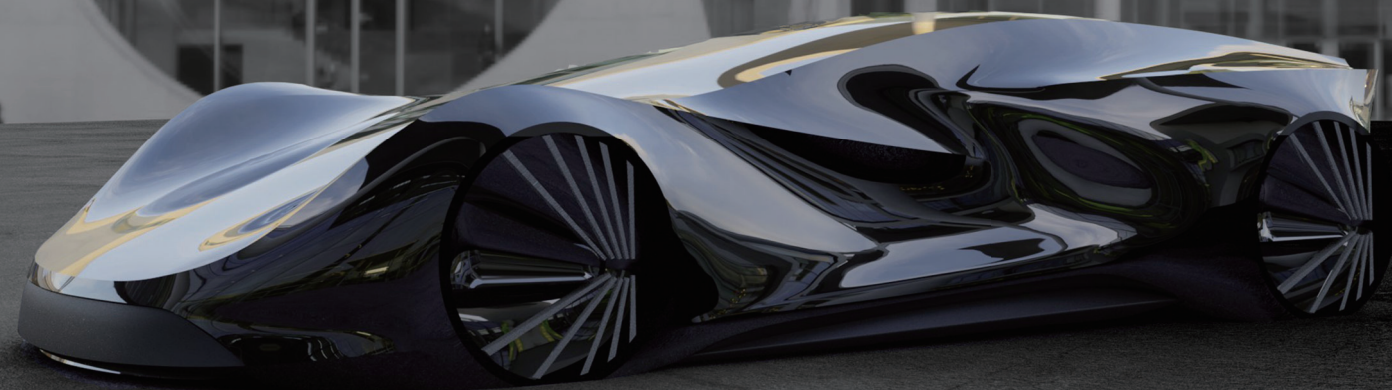


情緒的価値時代における新たなモビリティの提案

A Proposal of a New Kind of Mobility in the Era of the Elevated Value of Feelings

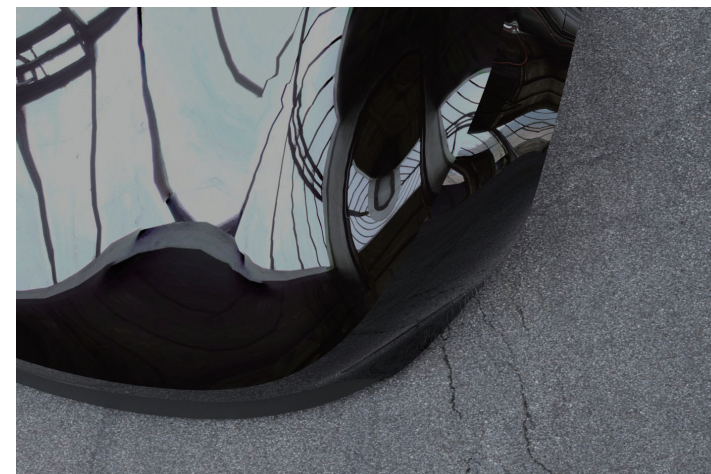
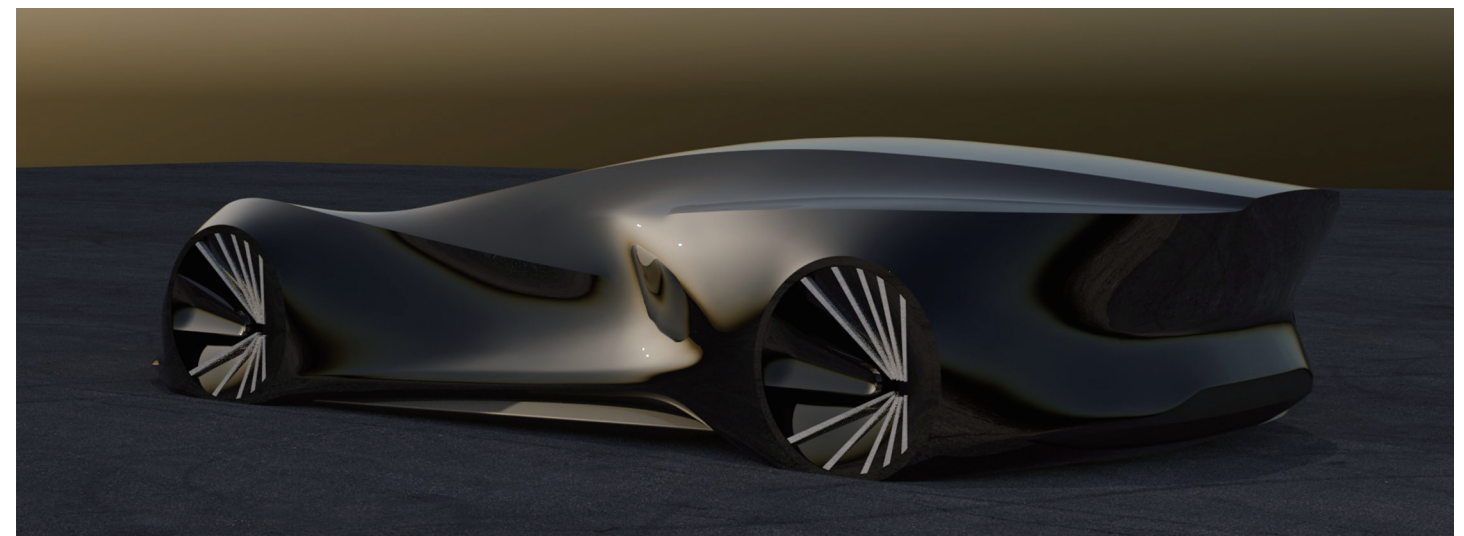
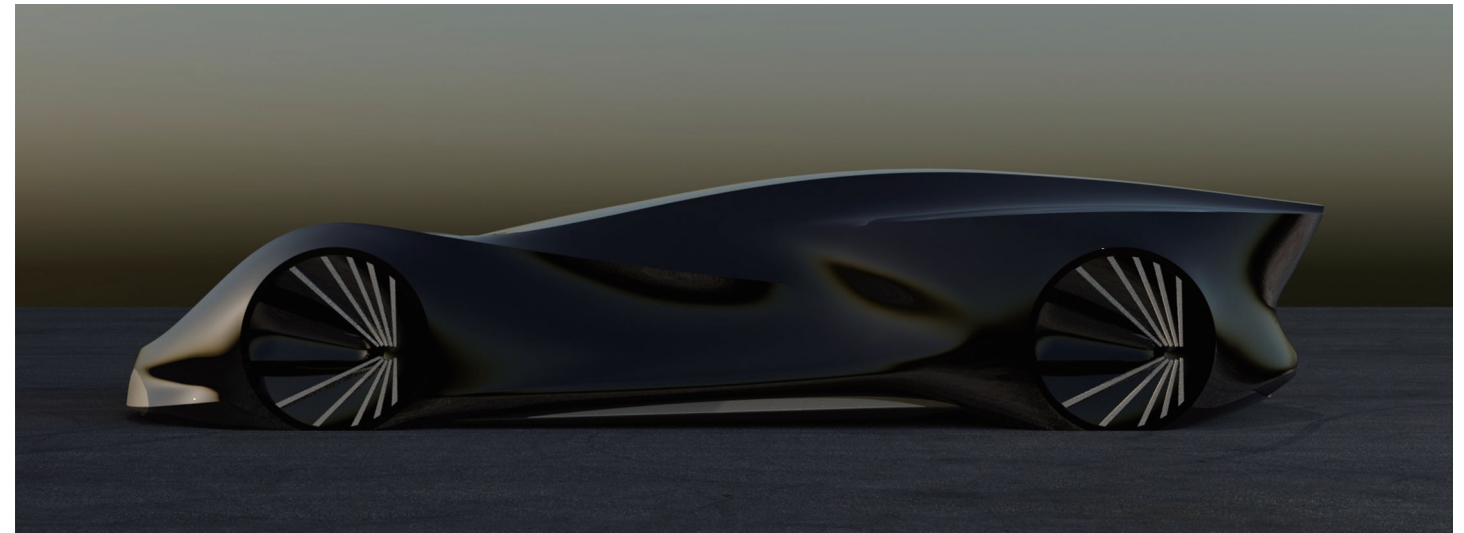


走ると共に複雑に表情を変えるボディ造形

現在、プロダクトの価値は所有価値から体験価値へと移行しつつあるが、今後はその中でもより感情に訴えかけるような情緒的価値が重要になってくるのではないかと考える。リフレクションをテーマとすることで、クルマを動体として、見た時の表情の変化を表現した。

A Vehicle Body Designed to Reflect Complex Transformations With Every Turn

In modern culture, the value of products is placed increasingly more on experience rather than ownership. Within the framework of the experience value aspect of products, I believe we will continue to see even more stress on the emotional component. In this work, a car's body design represents a human torso, which visualizes complex changes as it runs similar to the play of muscles of a human body as it moves.



このデザインの最大のポイントはサイド面の肉体的な面と骨格的な線が生み出す複雑なうねりにある。フロントフェンダー後ろとリアフェンダー前にある2つのZ型の造形とそのうねりがぶつかり合う真ん中の複雑な面構成が、実際の情景の中で何重にも表情が変わるものとなると考えた。また、リアデザインは、走行中もっとも見られる部分であることを踏まえ、シンプルでありながらもこの造形全体の特徴を凝縮して表現している。